

PTA新聞コンクール

レイアウト年々向上

2日に表彰式

第六回長崎新聞「PTA新聞コンクール」(後援)県教育委員会、県PTA連合会、協力)県印刷工業組合(株イシマル)には百九十八点の応募があり、審査の結果、長崎市立橋小PTAの印刷作品「橋」が見事グランプリに輝いた。また県教育委員会賞には松浦市立御厨小PTAの手作り作品「SIMIZU」、県印刷工業組合賞には長崎市立桜馬場中PTAの印刷作品「さくら」、優秀賞には川棚町立川棚中PTAの印刷作品「清水が丘」など六ポイントが選ばれた。奨励賞以上の表彰式は三月二日午後二時から長崎市茂里町の長崎新聞社で開かれる。

長崎新聞社は県内小中八会場を巡回、基本的な編校のPTA広報担当者など集ノウハウのほか、各校持を対象に、平成四(一九九)の作品や原稿を基に具体二(二)年度から「PTA新聞」的なアドバイスを行った。つくり講習会」を県内各地 受講者は佐世保会場の百四で開いている。十年度は十一人をほはじめ各地で前年

を上回り、最終的には千二百四十一人に達した。長崎新聞社はこれら広報紙、新聞の一層の質的向上を願って、平成五年度からはPTA新聞コンクールも実施している。

六回目の今回は昨年十二月から今年一月末日の締め切りまでに、長崎市内の五十九点をほはじめ、佐世保十二点、大村十九点、諫早十五点、西彼地区三十三点、島原南高地区十七点、五島九点、平戸松浦八点、東彼地区八点、北松地区七点、壱岐対馬七点など、ほほ県内全域から計百九十八点(印刷部門百三、手作り部門九十五、小学校百四十一、中学校五十五、幼稚園、地区青少年育成協議会各一、総数で前年度より十五点の増)が届けられた。

審査は締め切りと同時に社内での一次審査を開始。抽出した百十点を印刷と手作り二部門に分けて二次審査を行い、坂井泰、執行優等委員と宮川密義編集長が担当した。

最終審査は長崎大学生涯学習教育研究センター長の猪山勝利教授、県教育委員会生涯学習課の倉田登勝指導主事、長崎新聞社の宮川博が担当した。

その結果、たが、今回もレベルアップに、熱い議論が

県教育委員会賞 御厨小「SIMIZU」
県印刷工業組合賞 桜馬場中「さくら」

晴れの受賞校

- グランプリ
 - 長崎市立橋小PTA 「橋」
 - 県教育委員会賞
 - 松浦市立御厨小PTA 「SIMIZU」
 - 県印刷工業組合賞
 - 長崎市立桜馬場中PTA 「さくら」

- 優秀賞
 - 印刷の部
 - 川棚町立川棚中PTA 「清水が丘」
 - 大村市立放虎原小PTA 「放虎原」
 - 諫早市立小野小育友会 「きささげ」
 - 手作りの部
 - 長崎市立南幼稚園育友会 「みなみっこ」
 - 長与町立長与北小育友会 「しおかぜ」
 - 長崎市立西城山小PTA 「にししろやま」
- 奨励賞
 - 印刷の部
 - 佐世保市立相浦西小育友会 「さかみち」
 - 長崎市立諏訪小育成会 「すわの風」
 - 諫早市立御館山小PTA 「御館山」
 - 島原市立第三小育友会 「がんぼ」
 - 手作りの部
 - 長崎市立日見小PTA 「とうげ」
 - 川棚町立小串小PTA 「るりいろ」
- 佳作
 - 印刷の部
 - 長崎市立伊良林小PTA 「ゆうかり」
 - 長崎市立西北小育友会 「にしきた」
 - 長崎市立滑石小育友会 「なめし」
 - 長崎市立淵中PTA 「淵友」
 - 長崎市立片淵中PTA 「かたふち」
 - 長崎市立西浦上中育友会 「うらかみ」
 - 佐世保市立大塔小PTA 「もみじ」
 - 佐世保市立戸尾小PTA 「戸尾」
 - 諫早市立明峰中育友会 「明峰」
 - 大村市立大村小PTA 「くろもん」
 - 大村市立中央小PTA 「ちゅうおう」
 - 大村市立旭が丘小PTA 「ひあし」
 - 大村市立萱瀬中PTA 「こんびら」
 - 大村市立郡中PTA 「こおり」
 - 平戸市立平戸中PTA 「鶴が峰」
 - 平戸市立平戸小PTA 「うずしおの丘」
 - 三和町立蚊焼小PTA 「かやき」
 - 長与町立長与小PTA 「いちよう」
 - 波佐見町立波佐見中PTA 「波中ふれあい」
 - 手作りの部
 - 奈留町立奈留中愛育会 「なるしお」
 - 郷ノ浦町立盈科小PTA 「四季」
- その他
 - 長崎市立稲佐小育成会 「いなさ」
 - 長崎市立南大浦小PTA 「交流」
 - 長崎市立桜が丘小育友会 「さくらだより」
 - 長崎市立鮑浦小育友会 「ほほえみ」
 - 長崎市立小原小育友会 「やまびこ」
 - 長崎市立鳴見台小育友会 「鳴見台」
 - 佐世保市立日字小PTA 「せんたん」
 - 大村市立萱瀬・黒木小PTA 合作「萱瀬・黒木特集号」
 - 三和町立為石小PTA 「はぐるま」
 - 多良見町立喜々津東小育友会 「ひがし」
 - 西海町立西海北中PTA 「わだち」



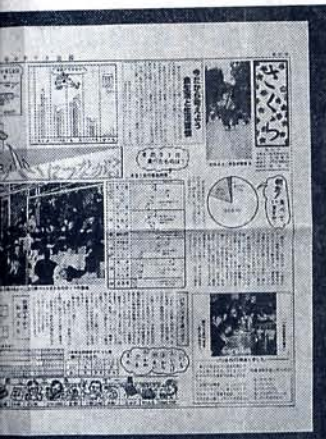
長崎新聞「PTA新聞コンクール」



グランプリを受賞した橘小PTA広報部

ケミ▽部員 馬場敬子、毎熊純子、大串久美子、後藤千寿代、古賀まち子、尾崎れい子、吉田智子、左野美由紀、野村寿美、重松美智子、小畑由子、小島千恵美

校での「表情」伝える



「子どもの何が見えませんか？」を年間テーマに、子供たちの学校での「表情」を伝えようと、日ごろ保護者が向うくことの少ない行事の取材や生活面の実態調査を実施。写真やイラストを使うことで読みやすい紙面つくりを心掛けた。

県印刷工業組合賞

受賞した「さくら」九十七号では、中学時代は心と体づくりの時期で、また社会問題になっている「キ

長崎市立桜馬場中
 「さくら」

生徒には「毎日朝食を取っているか」「体調はどうか」「睡眠時間は何時間か」などのアンケートを取り、結果をグラフにまとめ、分析や食のアドバイスを行い、食の大切さを訴えた。

▽委員長 井上公子▽副委員長 田川朝子、後藤邦子▽委員 出口登美子、西村桐子、田崎睦子、樋口房子、松本久恵、森野

委員長の井上さんは「各委員が持ち味を出し、楽しみながら作れたことと学校側の全面的な協力で充実した紙面ができました」と話している。

長崎市立桜馬場中PTA「さくら」は、B3サイズの2ページ、ワイドに編集できるメリットを生かして伸び伸びとレイアウト。96号は縦に、97号は横スタイルだが、内容は「職場体験」などワイド版に「さわさわわ」ボリュームのある企画もある。

▽委員長 井上公子▽副委員長 田川朝子、後藤邦子▽委員 出口登美子、西村桐子、田崎睦子、樋口房子、松本久恵、森野



長崎新聞社で開かれた最終審査会

町立小PTA「さくら」は、B4横とB5縦のレイアウトは手作りの味。落

「お手伝いしてませんか？」のアンケート特集では親と子の本音をグラフとコメントで分かりやすく編集。レイアウトもしつかりして、いて頼もしい。保健室の先生に取材した「登録前」の「ラブル生」あなたならどうする！も好評企画。

「PTA機関紙」認識高まる

「読ませ

折り畳まないというランドセルに入らないため、A4判に改定し雑誌感覚で製作。段数が少なくなったことで簡潔な文章やレイアウトを工夫。「素人でも作りやすい紙面づくり」を目指した。写真、図表を多用しビジュアル化を進めた。

県教育委員会

▽部長 小川栄治▽副部長 友田幸恵、小林悦子、黒石誠、宇都宮英明、末竹照美、志水幸枝、松本利代子、田中はるえ、谷口津由子、吉田典子、竹本晶、北川紀子 (松浦)

入選作の講評

商業印刷に回すと写真と文字の処理で内容見出しに鮮明度が増す。こしやレイアウトなどに知れず「印刷」「手作り」のどの部門に置かれたか検討する必要が出てきた。

▽長崎市立橋小PTA「橋」はB5冊子型。一面の写真には表情が欲しいところだが、二面以降

本的存在。イラストも味がある。園長、育友会役員の座談会は内容見出しも付けて分かりやすく、余白を生かしたレイアウトもすっきりしている。

▽長崎市長と北小育友会「しおかせ」は文集形式だが、報告記事のほか、中央にはカラーページでアンケート特集を挟んでいる。データを表とグラフ、イラストで示し、寄せられた意見も分かりやすく編集。表情のある写真も楽しい。地域

▽島原市立第三小育友会「がんばり」運動会記事を雨の中でがんばった子供たちへのメッセージや感想でまとめ、見開き面のアンケート特集「からだげんき？」は項目のほかに「なぜ大事？」など、うすればよい」などの小見出しを付けて解説。グラフも見やすく、小さなコラムもあつて楽しく充実した紙面。

▽長崎市立日見小PTA「とっぴ」はB5文集型だが、「お手伝いしてませんか？」のアンケート特集では親と子の本音をグラフとコメントで分かりやすく編集。レイアウトもしつかりして、いて頼もしい。保健室の先生に取材した「登録前」の「ラブル生」あなたならどうする！も好評企画。

☆手作りの部・奨励賞☆

◎島原市立第三小育友会 「がんばり」

《寸評》パソコン編集ですつきりしています。1面は子供の笑顔のアングル、トリミングがよく、余白もあるので印象が強いですね。内容は「からだげんき」の生活習慣アンケート結果を掘り下げ、食事、睡眠、排便について4ページにわたって特集。データはグラフのほか、見出しに読ませる工夫が感じられます。行事報告を1ページに簡潔にまとめたのも作品の質を高めました。